安全データシート

フッ化スズ（Ⅱ）ハミガキ用

SDS No. 051130
作成： 1993年2月3日
改訂： 2015年6月1日

１． 製品及び会社情報

会社： ステラケミファ株式会社
住所： 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3丁目6番3号
電話番号： 06-4707-1511
ＦＡＸ番号： 06-4707-1521
メールアドレス： kanri@stella-chemifa.co.jp
担当部門： 営業部
電話番号： (大阪) 06-4707-1515、(東京) 03-3242-1131
ＦＡＸ番号： (大阪) 06-4707-1518、(東京) 03-3242-1133
メールアドレス： (大阪) osaka@stella-chemifa.co.jp、(東京) tokyo@stella-chemifa.co.jp
緊急連絡先： 泉工場　　(0725-21-6801)

製品の名称（和名）： フッ化スズ（Ⅱ）ハミガキ用
製品の名称（英名）： Tin fluoride（Ⅱ）Tooth paste grade

推奨用途及び使用上の制限： 歯磨き剤のフッ素添加剤、

２． 危険有害性の要約[2) 4) 6) 7)]

ＧＨＳ分類；

健康に対する有害性：

急性毒性（経口）	：区分3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分2A-2B
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	：区分3
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	：区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素；

絵表示又はシンボル： どくろ、健康有害性

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

急性毒性（経口）：飲み込むと有毒

眼に対する重篤な損傷／刺激性：強い眼刺激

特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：（気道刺激性）呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：長期または反復暴露による臓器（肺、骨、歯）の障害

注意書き：

［予防策］屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。
保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
取り扱い後はよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

［対応］吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/
取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで15分以上洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には、中和処理後、洗濯をすること。
眼に入った場合：流水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを
着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
大量の水を飲ませる。その後ミルクを与えてもよい。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
※いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。

［保管］一定の場所を定めて貯蔵すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

［廃棄］廃液、汚泥等は関係法令にもとづき、自社で適正に処理するか、または
廃棄物処理業者に委託して処理すること。

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 単一化学物質
化学名または一般名： フッ化スズ(Ⅱ)
別名： フッ化第一スズ
化学特性： 含有量　SnF2： 95%
化学式又は構造式　SnF2
分子量　SnF2=156.7
化審法番号： 1-346
安衛法番号： 化審法既存1-346
CAS番号： 7783-47-3
危険有害成分： フッ化スズ(Ⅱ)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物： なし

４．応急措置[4) 6)]

吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移す。鼻をかむ。うがいをする。
場合により酸素吸入。
皮膚に付着した場合： 汚染された衣服等を脱がせ、直ちに流水で１５分以上洗い流す。
目に入った場合： 直ちに流水で１５分以上洗い流す。
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
大量の水を飲ませる。その後ミルクを与えてもよい。
※ いずれの場合もすみやかに医師の診断を受ける。

５．火災時の処置[4)]

消火剤： 適用なし（本品不燃性）
消火方法： 本品不燃性
危険有害性： 火災時は火から遠ざける。間に合わぬ場合容器に水をかけ冷却する。
消火を行う者の保護： 消火活動時保護具及び空気呼吸器着用。

６．漏出時の処置[4) 6)]

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置： 関係者以外立ち入り禁止。作業者は保護具着用。
風下で作業しない。
環境に対する注意事項： 要排水処理
封じ込め及び浄化の方法・機材： 空容器に出来るだけ回収する。その後、大量の水で洗い流す。
風下の人を避難させる。関係者以外立入禁止。
二次災害の防止策： 貯蔵・取扱の場所の床面は、地下浸透防止が出来る材質とする。
また、床面等ひび割れのないように管理する。

７．取扱い及び保管上の注意[4)6)]

取扱い；

技術的対策：保護眼鏡、保護手袋、
保護マスクを着用する。

局所排気・全体換気：８．暴露防止および保護措置を参照

注意事項：作業終了時身体を洗う
汚染した衣類等は洗濯しておく
作業場には安全シャワー、洗眼器等を設置し表示しておく。

保管；

技術的対策：床面等は、万一、漏洩があっても公共水域への流出及び地下への浸透が
起こらないようにする。

混触禁止物質：強酸

適切な保管条件：毒劇物法に従う。容器は密封する。

推奨容器包装材料：データなし

８．暴露防止及び保護措置[4)5)6)]

管理濃度：データなし

許容濃度：日本産衛学会（2014年版）　データなし
ＡＣＧＩＨ　（2015年版）STEL C 2ppm　(as Ｆ)

設備対策：局所排気、全体換気
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、
その位置を明示する。

保護具：

[呼吸器の保護具]保護マスク

[手の保護具]保護手袋

[眼の保護具]保護メガネ

衛生対策：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
作業中は飲食・喫煙はしない。
飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

９．物理的及び化学的性質[1)6)]

物理的形状及び色：白色結晶

臭い：スズ特有臭

密度：5.33

融点（℃）：210～260

沸点（℃）：データなし

ｐＨ及びその濃度：データなし

水に対する溶解性：42ｇ/100ｇ水＠18℃

引火点：なし

発火点：なし

爆発範囲：なし

１０．安定性及び反応性[1)6)]

安定性：酸化されやすい。
空気中で強熱するとフッ化水素ガス、酸化スズ（Ⅱ）の煙霧を発生。

反応性：強酸と接触するとフッ化水素ガスを発生。

危険有害な分解生成物：フッ化水素ガス、酸化スズ（Ⅱ）

１１．有害性情報[3) 4) 5) 6)]

急性毒性： SnF2　　経口ラット LD50　198.3mg/kg

局所効果： 皮膚・目を刺激し炎症を起こす
慢性毒性： フッ素慢性毒性（斑状歯、フッ素骨沈着等）
がん原性： OSHA、NTP発がん性物質リストに記載なし。
IARC発がん性物質リスト該当せず

１２．環境影響情報[7)]

環境中での生態毒性： データなし

１３．廃棄上の注意[4) 6)]

廃棄方法： 水に溶かし消石灰でFをCaF2として処理。
上澄液は規制に従い排水。
沈殿物は都道府県知事等の許可を受けた処分業者に委託。
関係法令を遵守し、適正に処分すること。
廃棄規制： 排水は、水素イオン濃度、フッ素含有量等が規制値に適合していること。
（ＰＨの規制値：5.8～8.6）
（フッ素の規制値：海域以外の公共用水域では8mg/L、海域では15mg/L）

その他条例等で上乗せされた規制がある場合はその値による

１４．輸送上の注意[4)]

国際規制；
海上規制情報： IMOの規定に従う
[UN No.] 3288
[Proper Shipping Name] Toxic solid, inorganic, n.o.s
[Class] 6.1　（毒物）
[Sub Risk] 該当なし
[Packing Group] Ⅱ
[Marine Pollutant] Not Applicable
航空規制情報： ICAO/IATAの規定に従う
[UN No.] 3288
[Proper Shipping Name] Toxic solid, inorganic, n.o.s
[Class] 6.1
[Sub Risk] 該当なし
[Packing Group] Ⅱ

国内規制；

陸上規制情報：毒劇物法の規定に従う。
海上規制情報：船舶安全法の規定に従う
［国連番号］3288
［品名］その他の毒物
［クラス］6.1
［副次危険］該当なし
［容器等級］Ⅱ
［海洋汚染物質］非該当
航空規制情報：航空法の規程に従う
［国連番号］3288
［品名］その他の毒物
［クラス］6.1
［副次危険］該当なし
［等級］Ⅱ
特別の安全対策：輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように
積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
移送時にイエローカードの保持が必要。

１５．適用法令

主な適用法規：毒物劇物取締法(劇物)
労働安全衛生法(通知対象物)
水質汚濁防止法（人の健康に係わる物質：フッ素）
危規則・港則法(毒物)
航空法（毒物）
化学物質管理促進法（第1種374番）

１６．その他の情報

記載内容の問い合わせ：ステラケミファ株式会社　品質保証部
〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町7丁227番地 Tel.No.072-229-3106

引用文献：
１）KIRK-OTHMER "ENCYCLOPEDIA OF CHEMICAL TECHNOLOGY"Forth Edition
２）堀口博「公害と毒・危険物」無機編　三共出版株式会社
３）ＲＴＥＣＳ（ＮＩＯＳＨ）－2000
４）「毒物劇物取扱の手引」 厚生省薬務局安全課監修　時事通信社
５）「米国OSHA危険有害性の周知基準(第4版)」(社)日本化学物質安全情報センター
６）"ChemicalDataSheetSD-25HydrofluoricAcid"
ManufacturingChemistsAssociation
７）NITEによるSnF2のGHS区分結果より(2006.12.26)

● 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。
また、記載されている含有量、物理化学的性質等に関する値は保証値ではありません。